

つながる スイーツ!!

久留米市社会福祉協議会

vol.3

支え合い推進会議 —その①— 「御井校区」の取り組み



● 御井校区支え合い推進会議 のメンバーは？

御井校区支え合い推進会議は、平成31年1月にスタートしました。

今回は校区の「支え合い推進会議」の様子をおとどけます。校区自らで課題を設定し、資料を準備し、社協と協力しながら、積極的に取り組みを行なっている「御井校区」をご紹介します。

- 御井校区支え合い推進会議 会長 長岡基博さん
- 御井校区まちづくり振興会 会長 権藤哲三郎さん
- 御井校区まちづくり振興会 事務局 長 井上隆夫さん

の3名の方にお話しをお聞きしました。

今回、御井校区の取材では社協の担当コーディネーターさんからお声をかけていただき実現しました。「社協のコーディネーターさんにはお世話になっているから」と、みなさん、取材を快諾。御井校区でも社協のコーディネーターと一緒に会議をすすめています。

● 実際にどんなことを しているの？



会議のメンバーを選抜し、2月から本格的に会議がスタート。御井校区では2か月に1回のペースで会議を行っています。メンバーは、自治会長の代表、老人クラブの代表、民生委員児童委員の代表、女性の会の代表などを中心に、約18団体の代表が参加しています。「支え合い推進会議を立ち上げたことで、何に取り組めるのか、どういったことが必要なのかを、メンバー皆でじっくり話し合い、まずは高齢者の困りごとに集中しよう」と決めました」と長岡会長は話します。

(1) 困りごとアンケート

御井校区は16の自治会で構成されています。各自治会では、これまでも民生委員児童委員さんが月に1〜2回、高齢者を訪問し、様子を伺ってきました。そこでまず最初に、令和元年11月、高齢者のニーズを把握するために「困りごとアンケート」を実施しました。このアンケートの質問内容・項目なども、何度も話し合い、メンバー皆で納得のいくものを決定。メンバー全員の見解を大事にするのがモットーである長岡会長は、会議では全員の意見を聞けるように、ひとりひとりにマイクを回して、メンバー全員に発言してもらいました。社協と協力しながら「困りごとアンケート」を回収・集計・分析。どういう困りごとが多いかをピックアップしました。そして、まず、各自治会で取り組むゴミ出し(可燃物)、ゴミ出し(資源物)、草取り、買い物代行といった、特に声の多かった、4つの困りごとが決まりました。

(2) 担い手アンケート

次に、支える側の人がどのように考え、協力できるかどうかでも大事だと、令和2年4月、自治会ごとに今度は「担い手アンケート」を実施。そのなかで、協力できる人、参加できる人も募集しました。すると意外と若い方も手助けの活動に興味をもっていることが分かりました。

● 2から3の目標

2か月に1回の会議のペースでは、なかなか進まない。長岡会長は、会議を毎月行うことを提案し、「議論ばかりではなく、まずは早く動けること」を目標にしました。できることを絞り、スタート時期を決めることでメンバー皆も賛同し、途中から毎月会議を行い、審議速度はグッとスピードアップしました。

(1) ささえあい御井利用券

会議で何度も話し合いながら、「ささえあい御井利用券」1冊1000円(50円券×20枚)と、担い手さん(支援者)用の身分証明書を作りました。コロナ禍で会議ができず、なかなか進まない



期間がありました。いよいよ令和4年1月から、いくつかの自治会でこの取り組みがスタートします。

(2) それぞれの目標

御井校区支え合い推進会議での、これからの目標をお尋ねしました。

● 権藤さん

「高齢化でますます独居の高齢者が増えていくかもしれません。また、マンシヨンが増えてきて

隣近所のコミュニケーションが取りづらく、活動がしにくくなっています。そこをどう対応していくかが課題です。今取り組もうとしている4つの困りごと以外の困りごとを、社協や市の協力を得たり、シルバー人材センターとタイアップしたり、今後、新たな動きが必要になってくるかもしれません」

● 井上さん

「今後、事業者さんとのタイアップは必要になってくると思います。例えば『電球を替えたい』など電気関係の困りごとなどは、専門の技術や知識が必要なものもあります。地域の事業者さんの協力を得て、今後は新たな困りごとにも目を向けていか

なくてはいいけません」

● 長岡さん

「何年かかってもいいので、御井校区内の16自治会の全てで、この4つの困りごとの取り組みが動き出せるようになって欲しいです。自治会の足並みが揃うことを目指します」

● 取材を終えて

誰もが住みやすいまちづくりのため、そしてあくまでサービスの提供が目的ではなくこの取り組みを通じて『人と人がつながること』を目指していると、皆さん話されます。昔は戸建て中心だった御井校区もマンシヨンが増え、人と人の繋がりが希薄になりつつあります。昔からの言葉にある『向こう三軒両隣』。親しく関わる近所さんとの良い関係が、御井校区全体に戻ってきて欲しいですね」と、長岡会長が笑顔で話されたのが印象的でした。



権藤 哲三郎さん 長岡 基博さん 井上 隆夫さん

会議の後には、皆さんで集まったりされますか?とお尋ねすると、「飲み会は会議の経費では絶対に使えません。疑われてもいけないから、飲み会はずり解散です(笑)」と3人。飲んで食べてコミュニケーション作りが得意という権藤さんは、自治会町内にある3軒の焼きとり屋さんを公平に全てまわってコミュニケーションを築くことが日課だそうです。長岡さんの趣味はカメラを持ってドライブすること。井上さんの趣味は川釣り。星野川の自然に囲まれ、心身ともにリフレッシュされているとか…。

久留米市社会福祉協議会

〒830-0027 久留米市長門石1-1-34

TEL: 0942-34-3035

FAX: 0942-34-3090

メール: heartful@heartful-volunteer.net

HP: <http://www.heartful-volunteer.net>

久留米市社会福祉協議会

検索

webサイト

[note—つくる、つながる、とどける。]で

「つながるスイッチ!!」を検索してください!

次回の

つながるスイッチ!!はHPでもwebマガジンでも掲載中

「支え合い推進会議」各校区の取り組み—その②—を紹介いたします。

